

議会懇談会 団体名「ありがとうの木」 意見一覧

R5.6.22（木）午後2時から消防大会議室

持安弘行氏 挨拶

山崎みまこ氏 挨拶

自己紹介

米沢議員 → 元井議員 → 山崎三麻子氏（代表） → 堂前沙織氏（スノーボー、登山）  
→ 坂本よしや氏（音楽教室）→佐藤議員→岡本議員→高松議員→今村議員→佐藤めぐみ氏  
→持安弘行氏

持安氏 進行

書記 佐藤めぐみ氏

・ ありがとうの木の名の由来について。みんなの居場所づくり。あかちゃんからお年寄りまで多世代交流を目的としている。安心した時間を共有する。誰もが笑顔になるための取り組みを行っている。

・ 草分に住んでいる。移住者。コロナ過があったので場づくりが必要、活動が大事なことだと思った。居場所があったらよいと思う。住んでる間孤独にならないようにする。

・ 社教センターでやっているラジオ体操に子供と一緒にいった。周りのお年寄りが名前を憶えてくれた。子どもも年寄りの顔を覚えてくれている。この関係がとても大事だと思う。ありがとうの木に参加して想いが重なった。異世代、多世代交流が大切だと思う。みんなが集まれる場所がありがとうの木なので大事にしたい。

・ 横断歩道の旗振りを行っている。小学校の新生生とともに学校へ向かっていたが、町でも声をかけてくれる。このことはとても幸せなことだと思う。かけがえないこと。なぜこの活動をしているのか。自分のため。子どもから元気をもたらしている。

・ 社教のラジオ体操にたまに参加している。いろんな人が参加しているこのことが広がらないのかな。と思う。

・ エピソードを考えていたが、全部つながっていることだが、人生の中に登場人物を増やせばよいと思う。国の内外で争っているが、お互い知らない者同士だからあそえるのであって、もし、知り合い同士ならそんなことはできない。知り合いを増やすことが大事。上富良野、国の中。知っている人をどんどん増やすこと。居場所で何かしなければと考えがちだが、その中では何もしなくてもよいくらいだと思う。生きているだけで周りの人を元気にする。

生産性のないことはあるがそのことは気にしないで生きているだけでいい。居場所が大事だと思う。

- ・ 認知症について、岡本議員と私、大町の運動会に参加。防災の話も少ししたが、焼肉も行った。近所の方がすーっと立ち上がりいなくなりそうな感じな人がいて、話を聞くと帰り道がわからない。手を添えて家まで送ると安心した様子であった。このことを恥ずかしいと思わないような事が必要。ありがたい木の活動を知ったときに、私が手伝えることは手伝うという風に考えている。

- ・ 居場所が必要と思ったが、高校生と二人暮らし。地元は上富良野だが親を頼ることはできなかった。今はファミサポがあり頼る場所がある。当時は、ファミサポがあっても金銭的に厳しかったと思う。上富良野町は転勤族の方が多い。頼れる人がいないという方もいると思う。助けてと言える居場所があればと思う。

- ・ ありがたい木は東川町にあった居場所である。その活動の名前をもらっている。

- ・ 居場所づくりのことを話とおもっていたが、この集まりの場が心のある人たちがたくさんいることが知れた。居場所づくりで必要なことは一人ひとりにバックグラウンドがあると知り、触れ合っていくことが大事だと思った。

- ・ 移動先を増やすことが大事。居場所、依存先がいっぱい必要。やらかす前に入り込む場所が必要。

- ・ 想いを持っている方がいっぱいいる。行政と中間性の組織がないと考える。相談されたら寄り添ってなんとかしよう。そういう組織が必要。北海道179自治体のうち23地区だけある。協働のまちづくりはやりたいことがたくさんあるが10万円しかでない。

- ・ 議員と会う機会もあまりないし、議会だよりを読んでも少し怖く、緊張もしていた。でもお話できてよかった。議員といっても町の方なので、一緒に触れ合っていきたいと思う。話をいっぱい聞いてもらい感謝している。ありがたい木はこれからたくさん活動をしていく。おたがいありがたいと言えるようになりたい。

(16時00分)